

「ミニバス」と「バスケ」の違い

項目	バスケ	ミニバス
ゴールの高さ	3.05m	2.60m
コート大きさ	28m × 15m	22m × 12m
試合時間	中学 8分の4Q 高校以上 10分の4Q	6分の4Q
3ポイントシュート	あり(6.25m)	なし
ボールの大きさ	中学6号, 高校以上7号	5号
バックパス	あり(バイオレーション)	なし
バックコートでのバイオレーション	審判にボールを渡す	審判にボールを渡さない
ゲーム中の人数の制約	スタートで最低5人いればよい。	3Qまでに10人出す必要あり

バスケの「こわさ」(こわい順に並べました)

ゴールが高い

- ・高さが45cm高くなるため、シュートがミニバス時代に比べて入らなくなる。
- ・「リバウンドを制する者はバスケを制す」リバウンドが取れない(スクリーンアウトできない)チームは負け。

コートが広い

- ・たて6m, 横3m, 広くなったため、守りも攻めも、「足」が必要となる。足が動かないチームは負ける。
- ・プレスをかける場合もより動かないとダメ。1回のプレスで体力がかなり消耗される。
- ・パスを出す距離もミニバスより長くなる。(パスカットされやすくなる)

試合時間が長い

- ・より持久力・粘り強さが必要となる。

3ポイントシュートがある

- ・3ポイントシュートシューターがチームにいと、逆転する(される)可能性が高くなる。

ボールが大きい

- ・腕の筋力が必要となる。筋トレ・ハンドリングをしっかりとやり直さないと、ボールは手につかない。

バックパスがある

- ・オフェンスはボール運びが弱いとダメ。ディフェンスはプレッシャーだけで、マイボールにできる。

スローインで審判にボールを渡す(ワンタッチ)

- ・バックコートでのバイオレーション後に、「ワンタッチ速攻」が使えない。
- ・ディフェンスが配置につく時間があるため、スローインが難しくなる。

5人いればゲームに参加できる

- ・少人数のチームでも大会に出場できる。

早くこの違いを受け入れて
「ミニバスチーム」「バスケットチーム」になったチームが勝つ